



「田植えの今昔」

いつもありがとうございます。代表の松本です。

6月5日は毎年恒例になった水道局主催の千代川一斉清掃に参加しました。その帰りに田植えの風景に出会い懐かしく感じました。

私の子どもの頃の湯梨浜の小学校は田植えの農繁期は手伝いの為の休みがあり、農家でない生徒も「実習」を兼ねて手伝いに行っていました。大人に混じって10人くらい横一列になり、玉のついた糸(苗を植える為の印)を後ずさりして植えていたものでした。田植え終了まで2〜3週間はかかっていた様に思います。ところが今はどうでしょうか？

鳥取市の湖山地域では、田植えも終わりに近づいています。が、「アツ」という間に植え付けが終わっています。5〜6人くらいで農業法人を

平成 28 年 6 月号
幸せリフォーム通信

6月(水無月)
June

立ち上げ、5条、6条植えの田植え機を使い、2台で順番に植え付けている様子を見ました。まさに時代の要請でしょうか。そのスピードには目を疑います。全てのわたり、スピードの時代の到来ですね。

3〜5年くらい前まではイベントや会社内容の告知にはチラシ、新聞折込、ラジオ、テレビなどしか伝達方法が無かったのですが、現在は一瞬でその会社の情報を全てを、WEBのホームページ検索で見える様になっています。

会社の場所、建物などもインターネットのストリートビューなどで確認することが出来る時代に変わってきています。便利で時間をかけずに、ほぼその全容が分かってしまう時代がやってきています。

特に若者はネットや通信の利便に長けていて現在を生き抜く情報をフル活用しています。時代が大きく変わってしま



田植えの風景 (鳥取市湖山地区) H28年6月5日撮影

毎日更新できる体制をとりながら、広く地域のお客様に、当社の今の姿をご紹介出来る様に行きたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願ひします。

代表 親方 松本 茂樹

地域に根付く職人仕事と、日本の心を守る

でんでんむしむし〜♪夏はすぐそこ!おしゃべり広場♪

早めの熱中症対策!

こんにちは!お客様係&塗装担当の松本和朗です。さて、6月に入りましたが今年は何年より早く暑さを感じているのは私だけでしょうか? 7月・8月にピークを迎える熱中症ですが、6月に救急搬送されるケースも増えています。

気温以上に湿度が大きく関わってくる熱中症。発症しないに越したことはありませんが、自分や周りの人が万が一発症してしまってから慌てても

特に外回りの営業さんや現場に出ていく職人さん達は日中屋外での仕事メインになります。いざという時に慌てないためにも、必要最低限の知識は職場でも予め共有しておきたいものです。最近では「熱中症」という言葉に違和感を覚える方は少ないと思いますが、「こんな炎天下で遊んでたら、日射病になるよ!」と、口癖のように母親から注意された記憶ありませんか?

そんな記憶のある方、きっと私と同世代です! 他にも似た言葉として「熱射病」があるわけですが、この「熱中症と熱射病と日射病の違い」分かりますか? この、熱中症・熱射病・日射病の違いや、その簡単な予防方法や実際にかかってしまった時の対処法・応急処置などを含め、熱中症に対する最低限の事を知っておくことも必要ですね!

最後に、熱中症はいっ誰の身に襲い掛かってもおかしくない症状。職場での朝礼、家庭での雑談等、最低限の知識・情報は、ぜひ平日頃から皆で共有して、今年の夏も元気に乗り切りましょう!



感動のリフォーム! 職人直営専門店

(有)シュペール

朝 8 時から夕方 6 時まで 27 年目も一生懸命営業中!

お手紙はこちらへ◆本社 鳥取市千代水 3 丁目 59 番地

お返事・ご相談は、こちらからどうぞ。フリーダイヤル

0120-984-588

TEL 0857-31-4288

FAX 0857-31-4343 HP <http://aksuper.jp/>